

○農林水産課長（猪又悦朗君）

大変失礼いたしました。

議員ご提案のとおり災害をにらんだそういった取組というのもあろうかと思っております。

ただ、現在の圃場につきましては、そういったところも視野に入れながら耕作条件の改善をしていきたいというところで取り組んでおります。当然、そういった排水等もしっかり改良を加えながら、取り組んでいるところでありますので、そういった理念という部分は忘れずに改良に取り組んでいくんだらうというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

新保議員。

○8番（新保峰孝君）

終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

担当入替えのため15時35分まで休憩といたします。

〈午後3時31分 休憩〉

〈午後3時35分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。

発言通告に基づいて、一般質問を行わせていただきます。

1、空き家・空き店舗対策について。

(1) 市内の空き家・空き店舗の現状を、どのように把握しておりますでしょうか。

(2) 空き家・空き店舗の持ち主の把握と、持ち主の意向確認について行っているのでしょうか。

(3) 空き家・空き店舗の活用と移住促進策についての考えを伺います。

2、久比岐自転車道路の活用について。

久比岐自転車道路は、上越市と糸魚川市を結ぶ旧国鉄北陸本線の線路跡地を利用して造られたサイクリングロードで、近年のサイクリング熱の高まりから、海沿いの美しい風景を楽しみながらサイクリングする人たちを多く見かけるようになりました。

今後もこの傾向は続くものと思いますが、この久比岐自転車道路を活用しての観光誘客について

の考えを伺います。

(1) 上越市の虫生岩戸から糸魚川市中宿までの全長約32キロメートルと、サイクリングロードとしての距離は長くありません。また線路跡地ということもあり、平坦で走りやすく幅広いユーザーに楽しんでいただけます。

① 上越市側はともかくとしまして、糸魚川市側は、今度設置されるえちごトキめき鉄道新駅である「えちご押上ひすい海岸駅」付近まで、サイクリング道路として延長を検討できないでしょうか。

② ガイドマップはありますが、徳合から海谷まで、フォッサマグナパークなど、特徴ある各谷のサイクリング周遊マップの作成について考えはないでしょうか。

(2) PRキャラクター「久比岐 凜」を活用したPR動画の作成についての考えはないでしょうか。

(3) 上越妙高、HAKUBA VALLEY、朝日町との、サイクリングによる連携した企画などの取組を持つ考えはありませんか。

3、糸魚川市の農業について。

2020年産米は、県内各生産地で作柄・作況とも良く、豊作となりました。

先月開かれたJAひすい主催の糸魚川産米ブランド化生産者大会でも、管内の作柄・作況が報告され、作柄は平年並みに回復し、集荷量も昨年以上となり、生産者の努力がたたえられました。

一方コロナ禍で、全国的に主食用米のだぶつきが懸念され、米価格の下落、今後の需給動向、次年度の作付について対策が求められていることから、市の考えを伺います。

(1) 市内産米の需給動向について。

(2) 米価格の下落と生産者の所得への影響及び対策をどう考えていますでしょうか。

(3) 下落の激しい新之助をはじめ、主食用米の転換など、次年度に向けての作付について、どう進めていきますか。

(4) ドローンやAIなど、農業分野における新しい機能導入への取組支援についての考えを伺います。

(5) 野生鳥獣の被害と対策について伺います。

4、新型コロナウイルスによる影響と対応について。

(1) 市内事業所における、新型コロナウイルスによる経営状況及び解雇・雇い止めの状況について伺います。

(2) 国や県の推進するテレワークやワーケーションについて、状況と今後の普及に対する支援についての考えを伺います。

(3) コロナ禍におけるスキーシーズンに向けての取組及び今後の観光誘客についての考えを伺います。

以上、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、今年度、空き家の外観目視による不良度判定調査を実施いたしております。

2 点目につきましては、実態調査のデータを基に、現在、使用状況や利活用の意向に関するアンケートを実施する予定であります。

3 点目につきましては、移住の際に住まいの確保が重要であることから、空き家バンクへの登録促進や空き家に関する支援制度の情報提供を、引き続き行ってまいります。

2 番目の 1 点目につきましては、現在、久比岐自転車道魅力アップ実行委員会において、糸魚川駅と直江津駅を結ぶモデルコースを検討してるところでございます。

2 つ目につきましては、観光協会においてサイクリング周遊マップの作成を予定しており、今後、旅行商品の一つとして検討してるところであります。

2 点目につきましては、現時点では動画の作製は計画されておられません。

3 点目につきましては、北アルプス日本海広域観光連携会議においてサイクルトレインや輪行バッグの無料貸出しなどの取組を行ってきたところであり、今後とも周辺地域と連携して、サイクルツーリズムを進めてまいりたいと考えております。

3 番目の 1 点目につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用米の動きが鈍いものの、主食用米については好調と聞いております。

2 点目につきましては、仮渡金の減額による影響は大きいと考えており、主要品種であるコシヒカリの品質向上と収量確保への取組を強化する一方で、農産物加工や高収益作物の栽培などによる多角化、複合経営の導入促進を図るなど、引き続き関係機関や団体と連携を取ってまいります。

3 点目につきましては、県から発表される 3 年産米の生産数量を参考に、市農業再生協議会で協議をしてまいります。

4 点目につきましては、日本型直接支払制度等を活用したスマート農業の導入促進に取り組んでまいります。

5 点目につきましては、元年度の農産物被害額は約 200 万円であり、引き続き電気柵や猟友会への支援等により、被害防止に努めてまいります。

4 点目の 1 点目につきましては、経営状況は緩やかな回復傾向であると判断いたしております。

また、ハローワーク糸魚川からは、解雇や雇い止めについては、前年同期と比較して減少しており、大きな影響は出ていないとお聞きいたしております。

2 点目につきましては、各種団体に加盟するとともに県と連携したワーケーションモニターツアーの実施、公共施設の環境整備などを進めてるところであります。

3 点目につきましては、スキー場においてはレンタル用品やスノースクール受講料への支援など感染防止対策を徹底しながら観光誘客を進めていきたいと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

空き家・空き店舗は、全国的に増加しておりまして、地域の空洞化、あるいは景観等で社会問題となっているところであります。

また、空き店舗についても地域の生活基盤である日用品、あるいは生鮮食品の購入などといった点での維持が損なわれており、やはり社会問題になってるところでありますし、糸魚川市においても空き家・空き店舗は増加の傾向にあるというふうに思っているわけでありまして。

それで、9月議会におきましても、特定空家について伺ったところであります。初の持ち主・所有者不明によります行政代執行が行われたわけでありましてけれども、これからも所有者の特定が難しくなっていくのではないかと、そのように思うわけですが、その辺の見通しと対策についての考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

空き家でやはり問題になるのは、相続の方がおられない。または相続をされないまま放置されている。このような空き家が、問題になってくるというふうに思っております。そういったものにつきましては、空き家の特別措置法の第10条によりまして危険を伴う空き家であれば、所有者の調査を行うことができるようになっておりますので、そういったものの中で所有者について調査をさせていただき、責任の存在をお知らせさせていただく中で、空き家についての撤去であるか管理であるかということをお願いしているという現状であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今、課長の答弁ありましたように相続、あるいは相続後の名義変更、そういったことが把握できるかどうかというのが、今後の空き家に対する問題の大きな解決の糸口になるんじゃないかなと思うところであります。じゃあその相続されている方の名義変更がされてるかどうか、あるいはその辺の把握、そういったものが大事じゃないかなと思うんですけども、その辺の考え、対策はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

空き家の特別措置法では、危険な状態でない場合、むやみに相続者ですとかそういったものを特定することができないこととなっておりますので、危険な空き家の情報があり次第、そういった相続の方ですとかそういった方を探させていただいて、ご連絡をさせていただいているという現実でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

特別措置法が制定されました。市におきましても、空家等対策計画を策定しました。期間の、今半ばを過ぎた頃でありますけれども、その成果、それから課題はどうなっていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

成果につきましては、空き家等の適正な管理を促すことを連絡できるということがありますし、また、空き家バンクの運営ですとか、空き家等の掘り起こしを始めまして、公民連携の恒例としての社会課題の解決に取り組んでおりまして、コロナ禍でも空き家登録数や成約数を保っているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

そういう中で、平成28年の空き家等対策協議会の判定件数、前回、私質問させてもらって、特定空家はそのとき、能生が26、糸魚川は49、青海5、計80件が判定されていたところが、その後2件になり、それで今回のことでゼロ件になったというふうに答弁をいただいたところであります。ということは、これは80件のものが、現在は全て解体されているかと。そういったことに思ってよろしいわけでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

以前の調査で、特定空家等ということでご連絡をさせていただきました80件につきましては、完全な意味での特定空家という意味ではございませんで、現在、特定空家と認定されたものは、本年度の代執行によりましてゼロになったということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

そのほとんどが等だったというわけですね。それで、危険空き家除却支援補助金があります。これは上限50万というのは、聞いているわけなんですけれども。この助成金の利用状況というものは、いかがなものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

危険空き家等除却支援補助金の利用件数につきましては、平成29年から3年間で11件の申請があり、令和2年度につきましては、11月末現在で4件の申請となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

除却が必要な場合とそうでない場合もあるんでしょうけれども、空き家で解体したいけれどもなかなか解体できない原因の一つが、解体費用の高いということが問題になっていると。この制度を利用してもらったらいいと。問題は、やはりもう一つは、先ほどの相続がなかなかうまくいってないということもあると。市内の方には、こういった補助金が見えるけれども、市外の方への相続になった場合の適用というものは、これはどうなるのでしょうか。

また、市ばかりじゃなくて、市内以外の市外の方が相続している場合の空き家を除却する場合の、あるいは国あるいは県の支援制度等は、そういうものもあるものなんでしょうか。いかがなものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

市外の所有者の方に所有権が移っている場合であったとしても、市内の建物を除去するというのが補助要件に該当すれば、補助対象となるということになります。補助対象となります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

その辺の周知がどこまでできているかというのをちょっと感ずるところがあるんですけれども、やはり今後放っておくと非常に危険な建物が出てくるんじゃないかと。また、地域においてもいろいろと心配になってくるんじゃないかなと。

そういったことで今（２）のほうに移らせていただきます。

今度アンケート調査を予定しているということなんですけれども、もう既に県内でも意向調査を既に実施しているところもあるんですが、この調査はいつ、どのような内容で行う予定で、これは空き家だけでなく、空き店舗についても行うのか。その辺の詳しい情報をお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

今、環境生活課のほうで空き家の実態のほうを調査しております。その集計が出てきましたら、ちょっと年内は無理なんですけど、年を明けてから利用ができる。とにかく早く今、利用ができるものについては急ぎたいということで、所有者を特定しまして、今後、所有者の皆さん、売りたいとか、もうちょっと維持をしたいのか、もうちょっと管理を任せたいのか、そういった観点でアンケートのほうを行いたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

空き店舗のことについて、もうちょっと詳しく。それで、空き店舗については、店は閉めているけれども、そこに住んでいる場合は、空き家とみなさないわけですね。そういったところの混在している場合があって、そういう調査も同時に意向調査をしていくのかどうか。その辺をお聞きしたいわけです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

今回は、空き家ということで住居を優先といたしますので、申し訳ありませんが、空き店舗まではちょっと今のところ予定はいたしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

空き店舗については、もし貸したいという意向がある場合は、その辺のニーズというものを探っていく必要もあるんじゃないかなと思うわけでありまして。住んでいるから、それを聞かないとか、調査しないというのでは、なかなか空き店舗対策が進まないんじゃないかなと思うわけでありまして。その辺の意向調査というのを今後考える必要があるんじゃないかと、そう思って聞いているわけです。

が、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

空き店舗につきましても、今民間の、いえかつ糸魚川のほうでも今現在登録件数が9件という形です。今後、意向調査のほうはちょっと予定はしておらないんですが、こういった空き家バンクのほうでも店舗も対象といたしておりますので、そちらのほうでの呼びかけは、進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

空き店舗、逆に空き店舗への何かないかなという、空き店舗へ入りたいという希望とか相談とか、そういうものはあるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

当課で創業支援の事務を担当しておるわけなんですけども、空き店舗の紹介はしておりませんが、詳細は不明なんですけど、創業される自らが不動産オーナーの方と交渉したり、あと不動産事業者と話し、また、いえかつでの相談というところで対応されてるものだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今、いえかつの話が出ましたが、いえかつも何年か経過する中で、いろんな成果があるんじゃないかなと。いえかつを通して空き家、あるいは空き店舗に話があった場合、今度その移住してくる、受け入れる側の地域とのいろんな情報の交換とか共有というものが必要になってくるのかどうか、その辺の市の見解というものは何かあるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

いえかつ糸魚川とは、糸魚川市と連携をいたしております。いえかつのほうで移住者の皆さんが、市外の方で建物が欲しいという方がいらっしゃれば、情報を共有しておりますし、どこの物件とい

うこととなりますと、その地域の情報をしっかり集落カルテというふうな形で、こういう集落だということでは情報をおつなぎしておりますし、また、市のほうへ相談に来た場合でも、ここの集落でこの物件だと言われれば、ここの集落ではこんな状況ですよというふうな案内をしております。場合によっては、区長さん等へも連絡をしながら、良好な関係が持てるように取扱いをしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

やはり心配するのは、引っ越しをされてきて、いざ住んでからの定着状況。それを防ぐ、防ぐといますか定着状況をよくするためにも、来てからのトラブルは避けなければならない。そうするにはどうしたらいいかと。プライバシーの問題との兼ね合いもあるかと思うんですけども、受け入れる側の地域の皆さんへの情報提供も、どの時点でどれだけ行うことができるかということもあろうかと思えます。その辺の、中に入ることができるのは行政のほうかもしれませんので、また、そういう必要が生じた場合には、しっかりと支援体制、情報提供、必要なんじゃないかなと思うわけでありまして。そのことが1点と。

それから、今日午前中でしたか、いろいろと空き家の移住への話があったんですけども、最近では農地つき、あるいは畑つきの空き家というふうな物件の売り方もあるかと思うんですけども、そういったことに対する考えは、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

やはり中山間地域におきますと、どうしても農地を持たれたい方がいらっしゃると思えます。そこら辺につきましては、農地の下限面積というところを、農業委員会との調整しながら、大きなやっぱり農地につきましては、担い手がいらっしゃいますので、そちらのほうの優先ということになりますが、面積の小さいものにつきましては、農業委員会との連携を取る中で、農地のついた空き家も、まだ実績はちょっと把握はしておりませんが、いえかつのほうには登録をすると。所有権を渡せるような状況環境にはなっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

空き店舗の話に戻るんですけども、最近、能生地区において旧商店、あるいは古民家に若い世代によります空き家・空き店舗を活用しての事業改修が数点見られております。

また、この後、春先には、木浦のほうにも古民家を改装しての店を開店したいという話も聞いてはいるんですけども、少し皆さんの話、聞いてみたりすると従来に見られない自由な発想や独自のスタイルで、なかなか興味深いものがあります。やはり能生の旧商店街の場合には、誰でも食堂

の「のうごち」というのがかなり、もう1年ぐらい前からでしょうか開店してるんですけども、そういったときの開店時と併せて、かなりそのときには相乗効果も見られるというふうに、見てるとなかなか面白そうでもありますし、こういう空き家・空き店舗の課題解決と地域の活性化を生んでいくんじゃないかなと思うわけでありまして。一つのモデル的なところにもなるんじゃないかなと今、旧商店街の近くの取り巻く動きを今注視してるんですけども、行政のほうでは、その辺何か見ていたり、あるいは情報があるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

中心市街地、商店街のやっぱり店舗を有効に活用していただくというのは、非常に行政としてもありがたいというふうに思います。やっぱりその相乗効果を、今、議員が言われた。やっぱりそこに若い人がいるということは、やっぱり誰か立ち寄ってしまう。いろんなサロンのところで、いろんな世代の方が交流できる、非常にやっぱりメリットはあるというふうに思っております。

商売といいますか、営業をやりたい方については、商工観光課のほうで創業支援という形で創業塾とか、それから創業支援の制度もございますし、あとまちづくりの視点で、特にコミュニティを重視した本当にちょっと公共的な要素が非常に高いという取組であれば、地域活性化を狙ったまちづくりパワーアップ事業とか、そういったところで何とか若い世代が活躍できるような場面は、支援はしていかなきゃいけないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

補足させていただきます。

今言われた能生地域における空き家ですとか空き店舗を活用した取組の皆さんは、若い皆さんが連携して、お互いに応援しながら取り組んでおるといことで大変期待しているところであります。この中に、市の創成塾に参加いただいた方もおりますので、今後ともアフターフォローを行うとともに、創業支援ネットワーク等で情報を共有しながら、必要に応じて相談に乗って、事業が順調に進むように支援してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

このような動きというのは、今後の空き家とか空き店舗の利活用に対するヒントが、またあるんじゃないかなと思いますので、必要な支援はよろしくお願ひしたいと思います。

次、2番の久比岐自転車道路の活用についてであります。

ツール・ド・ニッポンという一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパンというところが、サイクリスト2018年国勢調査というものをやっております、その報告、抜粋ですけども、15か

ら69歳のうち、サイクルツーリズムを経験した人の割合は53.2%、人数にすると約4,143万人、直近の1年以内での経験者は20.3%で、人数としては約1,581万人ということだそうです。サイクルツーリズムの国内マーケット、これは年間約1,256億円、これにはインバウンドは含まれていないそうです。サイクルツーリズムで地域へ訪れる際の予算は、1回当たり平均約3.1万円、1人当たり。地域での消費行動においては、価格が安いことを重視する傾向にあって、自転車を安全に保管できること。それからフリーWi-Fiといった設備面の重視度が結構高いと。

また、土地ならではの名物、これを求めているということだそうです。走った地域については、84%が自転車でもまた走りにいきたいと思っており、77%がこの地域のことを友人に進めたい。69%が自転車以外でもまた観光に来たいと思っているというデータがあります。地域を選ぶときには、土地ならではの景観・絶景を楽しめることを最も重視するともあります。

今、それを踏まえまして、最初の質問なんですけれども、押上に延長するメリットというのは、私は非常に大きいんじゃないかなと。サイクリングの楽しみは、先ほども言いましたけれども、その土地ならではの空気や景色、風、地域の味、健康等でありまして、久比岐自転車道はそのどれも併せ持っているのではないかと。途中にうみてらすやマリンドリーム、そういった観光施設もありますし、設備面の充実も図れると思います。日本海に沈む夕日を楽しむ絶景ポイントも幾つもあります。それに押上が、起点になると、さらにヒスイ海岸散策の魅力が加わりますし、また、海谷をはじめとして、各谷のアプローチへの機転が図られます。それは初級者から上級者まで幅広いニーズに応えられるコースが、幾つもできるということで、ほかにはないサイクリングロードになるんじゃないか。鉄道の廃線とともに生まれた久比岐自転車道に押上新駅設置・開業による延伸というのが、相乗効果は大きいと思うんですけれども、この延伸に対する検討というのは、いかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、県の糸魚川地域振興局と上越地域振興局が中心となりまして、久比岐自転車道魅力アップ実行委員会というものをつくっております。この中において、今、議員先ほどもおっしゃったように中宿から上越の虫生岩戸までの間でしか整備がされておられませんので、今、駅と自転車道を結ぶモデルコースについて、必要に応じてブルーラインを引いたり、モデルコースをパンフレットで案内したりというふうな取組を進めておりまして、いずれにしてもこの地域は、自転車に乗って各谷ですとか周辺の観光地を散策するというのが一つの魅力になってくると思いますので、引き続き関係団体と連携して、取組を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

課長言われるようにブルーラインの整備も進んでいるようであります。そういうものを活用して、

久比岐自転車道は、中宿は中宿であれなんですけれども、モデルコースでもいいんですが、やはり押上のあの辺まできちんと入れることによって相乗効果が出てくるのではないかなと思うわけで、起点・終点、どちらがどうなるかよく分かりませんが、その辺に明記ができるようなコースとして、道路として認定してもらいたいような働きかけと、そういうものはできないものだろうかということなんです、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

糸魚川地域振興局の担当とも、事あるごとに自転車の活用について話をしているところでありまして、引き続き、今、押上新駅周辺の周遊ですとか、立ち寄り先の設定ですとか見せ方についても検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

なぜ虫生岩戸から中宿が、久比岐自転車道サイクリングロードとしてなったのかなというのが、そもそも思ったことなんですけれどもね。駅でいうと谷浜の駅から浦本というふうに、前に何か聞いたこと、あるいは調べたら出ていたことがあるんですけども、必ずしもそこでなくても上越のほうは、今言ったように直江津の駅のほうでもいいんじゃないかなと思いますし、こちらのほうも今度できる押上のひすい海岸の駅まで延長でいいんじゃないかなと。道路あるいは両脇の歩道、あるいは自転車道を見ても、ずっと遜色ない環境になっていますので、そのような働きかけ、しっかり、久比岐自転車道はここまでなんだというふうに延長してもいいんじゃないかなということを再三言っているわけなんです、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

久比岐自転車道につきましては、新潟県が管理をします一般県道上越糸魚川自転車道線でありまして、道路管理者である新潟県により起点・終点、あと整備については決められるものというふうに考えております。

ただ、先ほども申しましたように起点・終点は決まっておりますけれども、その後の間につきましては、またどういう運用を図っていくか、また今後の道路整備の状況によっては、延長されることもあるのではないかとこのように期待をしているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ぜひ今後の活用によって、そういったことも検討していただきたいと思います。私は、今回こういったことを考えながらまた、久比岐自転車道路は、正式名称はそれでいいんですけども、この際こういったことで愛称の募集をして、PRしてもいいんじゃないかなと。その愛称の中にヒスイを入れたりとか、マリンを入れたりとか、それからサンセットを入れたりとか、サンセットロードとかマリンロードとか、ヒスイロードとか、この地域をアピールしやすいのをやると、随分とまた注目もされますし、いいんじゃないかなと。

また、愛称とともに鉄道愛好家への、今回の押上新駅開業に向けてのPR材料にもなるんじゃないかなと思うわけでありまして、ぜひその辺の検討もやってもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今年は、コロナ禍でなかったと思うんですが、例年、東京で自転車の愛好家を対象としたCYCLEMODEというフェアがやられております。そこに参加している県の職員とかの話をお聞きすると、やっぱり久比岐自転車道という名称がどこにあるのか分かりづらいという話も聞いておりますので、そういう愛称をつけて、どこにある、どういう自転車道なのかというのが、ぴんと来るような愛称をつけることも一つの手段であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

特にひすいという名前は、どこにもつけられるものじゃないわけでありまして、ぜひその辺の検討もお願いしたいなと思います。

次に入りますけれども、サイクル周遊マップの作成を検討されてるということなんですが、この久比岐自転車道の魅力というのは、SLが走っていた頃の痕跡を残しておきまして、レトロな雰囲気のあるトンネルがたくさんあって、それがまた趣がある。そのトンネルを抜けるたびに、各特色のある、特徴のある谷が、それぞれ広がっているということでもあります。これは紙の上での地図ばかりではなかなか分かりづらいところがあるんじゃないかなと。それを持って周遊してもらうということになりますと、ぜひ今考えております周遊マップには、QRコードをつけたり、あるいはスマートフォンに連動できるような、ウェブと連携してできるような、そのようにして紹介をすべきと思うんですが、これからはそういうことが必要んじゃないかなと。ぜひ検討されとる中にも恐らく考えていると思うんですけども、ぜひそれをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、久比岐自転車道につきましては、自転車専用アプリ、ナビゲーションアプリであります自転車ナビタイムによって紹介、案内をされているところであります。

ただ、これは自転車道そのものの紹介ですので、ここから各谷へ入ったり、その辺りを周遊するコースにつきましては、これと連動したもので紹介していく必要があると思っておりますので、紙ベースの周遊マップのほかに、またそういう今いいアプリとかも出ておると思っておりますので、それらの活用も視野に入れながら、ちょっと研究してまいりたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

やはり観光地で先進的な取組をしています白馬辺りでは、もうQRコードをつけてウェブで紹介している、こういうサイクリングロードも初級者から中級者、上級者まで、そのようにしてもうやっていますし、そういったものも参考にされたらいいんじゃないかなど。

今、サイクルナビの話があったんですけども、それは、ぐるり糸魚川にあるサイクルナビのことになるのか、それとも別にサイクルナビがあるのかどうか。利用者の状況というのはどうなのか把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ぐるり糸魚川につきましては、自転車ということじゃなくて、ジオサイトをはじめとします、まち巡りに利用していただくために取り入れたものでありまして、6,000件ぐらいのダウンロード数があったというふうに記憶しております。

今ICTが進展しておりますので、どこまでの機能を持たせるかはちょっと分かりませんが、これらについても新しいものにバージョンアップしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ぐるり糸魚川にあるサイクルナビは本当にコースだけ、ちょっと利用者にとっては、もうちょっと充実したほうがいいんじゃないかなというふうな雰囲気を与えるものなので、その辺の工夫をよろしくお願ひしたいと思います。

マスコットキャラクターの動画は今のところ予定がないというふうに、せっかくのマスコットキャラクターがもったいないと思うわけであります。久比岐 凜の主人公と言ったらいいんでしょうか、メインにしたこの地域を回る様子を紹介するのに彼女を使っのPR動画というのは、これからぜひ検討して、作成したらどうでしょうかね、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

久比岐 凛につきましては、静止画ではイラストで何かカットか作成してあるということですが、動画を作る場合には、改めて動画用のイラストを何枚も書き下ろす必要があるというふうに聞いておりますので、この魅力アップ実行委員会では、現段階では作成までは計画していないということではありますが、提案をしてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

それ以前にサイトを見るとPR動画をつくってる最中で、4つの升のあるうち一つだけあれなんですよ、まだ。せっかくなので、あと三つの升のあるのを早くそれを作成してもらいたいなと、いつも見ても思うんですけども、そちらのほうも早くやっていただけたらと思うわけですが。ぜひその辺のこともお願いしますし。

もう一点は、市内には風景街道、同じ道としては風景街道があります。しかも2本もあります。一つの市の中に、あるいは町、村も含めてなんですけれども、2本風景街道があるというのは非常に珍しいと聞いてるわけなんですけれども。やはりこういったものとも合わせて、生かしていきなさいいけないかなと。やっぱり谷の中にしだれ桜があるわけですし、塩の道があるわけですし、そういったものとサイクリング、すごく相性がいいんじゃないかなと。もっと生かすべきであったんじゃないかと思うわけなんですけれども、そういったことの検討もしてもらいたいんですけども、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

風景街道に限らず、ジオパーク、ジオサイトを巡る際にも自動車じゃなくて自転車であったり、徒歩であったりというところで新たな発見ですとか、その土地の人と交流、会話が生まれるという利点もございますので、風景街道についてもモデルコースの一つとして設定することができないか検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

脱炭素社会、よく最近言われますけれども、サイクリングはその最もクリーンで、エコで、さらにヘルシーなスポーツといいたいでしょうか、ものでありますし、趣味でもあります。欧米とかアジア、サイクリストの気って物すごく高くありますし、冒頭紹介しましたように日本も増える一方であるようであります。今は、インバウンドはコロナでなかなか難しいところはあるんですけども、コロナ後というのは、また着実にあるんじゃないかなと。今はやはり耐えながらも、それを見据え

た整備というものが必要なんじゃないかと思っておりますので、サイクリスト誘客をもっと今まで上げさせてもらった内容含めて、必要な整備を検討していただきたいと思って、次に入ります。

糸魚川市の農業でありますけれども、作況指数、作柄とも非常に今年はよくって、作況のほうも非常に平年並みに回復してきてると。あるいは作柄も回復してきてると。

ただ、手放しで喜べないのが、全国的に供給が過剰になりつつあるということでもあります。ひすい管内のコシヒカリの評価というのは高く、昨年はほぼ完売だったというふうに聞いてるんですが、このような動きの中で20年産の需給動向というのは、いかがなんでしょうか。もうちょっと詳しくお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

先日、市内の法人経営者と懇談会を実施したところであります。その中身の中では、元年産については、ほぼ完売と、ほぼではなく、もう完売ということでお聞きをしているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今年の新米の、言い方変えれば、今年の新米の販売状況、あるいは需給動向はどうなんでしょうか。また、どのように把握されているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

現在では、JAのほうでも糸魚川産米の引き合いは強いということでもあります。また、現時点での話でありますけれども、伸びしろがあるというふうにお聞きしているところであります。

ただ、今後、コロナの影響により、業務用米においては需要の動向に少し不透明感が増してるのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

生産者のこのところの米に対する受け止め方なんですけれども、まず仮渡金が大幅に、昨年に続いてさらにまた大きな減少になりました。

そこでまた一方では、コロナ禍で業務用米が値引きの動きが見られると。外食、中食への販売数量の減少もあると。生産者のやり方といいたいまいしょうか、方向によって、こういったものじゃなくて直接販売して、消費者にやっていると、むしろ巣籠もりでプラスだったという話もあるわけなんですけれども。その辺は本当に明暗が分かれているところなんです、市内生産者の影響という

ものの調査、場合によってはダブルパンチになるおそれもある内容なので、その辺の市内生産者への影響という把握、あるいは声というものを聞いておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

市内生産者への影響というところではありますが、現在のところは特に声としては聞こえておりませんが、間違いなく現時点では5%の減少というところがありますので、今後、営農意欲だとかそういった部分での影響が出てくるのかなというふうに考えております。引き続きJA、県などと連携をして、現在まだまだ品質向上というところ、今年75%程度になりますけども、まだまだ90%を目指していくというところもございます。

また、収量も現在のところまだまだ頑張っていこうということで統一しておりますので、そういったところでの所得の向上にみんなで一緒に頑張っていこうということで進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

こういった米をはじめとする食品、コロナで物すごく影響、いろんな面であるわけなんですけれども、着実に伸びているのが、食品の通信販売市場というふうに聞いております。その通信販売市場というのは、今後またさらに伸びていくんじゃないかなと言われてるわけなんですけれども、当市においてもインターネット販売支援事業を9月の補正でしたかで取り上げたりしましたけども、その後の取組状況はどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えします。

現在の実績は6件ということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

それから、つい先日、11日の日に6次産業化販売拡大研修会が隣の市民会館で行われたようがあります。今回、この前にも6次産業化や、あるいは販売拡大についていろいろと質問があったところなんですけれども、こういった催しを企画した場合に市民の、あるいは市内の生産者の関心というものは、高いものなんでしょうか。市内での6次産業化そのものが、普及しているのかどうか。関心の高さと、普及の状況について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

おかげさまで6次産業化の研修会をさせていただきました。25名ほどの参加だったとお聞きしておりますが、この時期、農作業が終わったこの時期にもかかわらず、残念ながらこのぐらいの人数なのかなというところがございますので、まだまだ6次産業化に対しては、市民、農業者の方々から関心を持ってもらうように、しっかり取り組んでいかなきゃいけないなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

本当にこの時期でそれだけの人数、多いとは言えないかなと思うわけでありまして、なかなかということも普及も進んでいないのかなということも推測できるわけですが、何が原因でそのようになかなか進まないのだろうか。課題というものは何かあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

一つには、農業者の方々の意欲、新しいことに取り組むというところで、どのように心の中で奮起をしていただくかというところが、大きな課題なのかなというふうに思っています。当市、兼業農家の割合が非常に多くて、お勤めのほかに、さらに6次産業化というところでは、なかなか難しいのかなというところもありますので、法人であったり、大規模であったりという、そういうところにもしっかり働きかけをしながら、紹介しながら、そういった取組も進めるように動いてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

次、（4）のほうに入らせていただきます。

ドローンとかAIとか、ICTとか一言でいうとスマート農業とかということになるのでしょうか。この糸魚川管内においてもいろいろと関心があるのではないかなと。生産者大会でもこのような紹介がありました。リモートセンシングの導入について、いろいろと実験もされているという話がありました。

リモートセンシングについては、今後の計画とか、あるいはこれによって期待される点というのはありましたら、お願いしたいと思いますし、ドローンそのもののオペレーターとか資格保持者というのは、市内にたくさんおられるのかどうか。その辺の把握はされているのかどうか。その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

リモートセンシング、今回、JAのほうを若干、市、県等とも協力しているところでもありますけれども、それにつきましては、やはりドローンが普及してきたことによって、そういった取組ができるというような形でのデモ的な考えで、今回実施をしたというところでございます。

それで、今ドローンを取り組まれているのは、詳細な数字じゃないですけども、6件から9件ぐらいだということで把握しております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ドローンやなんか、こういったことについては、だんだん空散などにも利用している生産者が始めていると。その辺の状況の把握もされてるんじゃないかと思うんですけども、やはり個人ではなかなかしづらいところがあるんじゃないかなど。結局、法人になるのか、集落営農になるのか、そういったことに対してのやはり支援とか相談体制というのはできているのかなというのが、一つの課題じゃないかと思うんですけども、その辺の体制はできているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

議員ご指摘のとおり、大変、機械全般非常に高価なものということであります。そういったところで中山間の集落協定組織であったりとか、そういうところに現在働きかけをしているところであります。基本的には共同で購入し、共同で使うというような形で今、推進をしているところであります。毎年1回は、現在草刈り機でありますけども、デモをしながらそういった普及にも取り組んでるということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

次に、野生鳥獣の被害と対策、今年は特に熊、イノシシ、さらに被害が出ている。あるいは出没が多い。先ほど被害額は200万というんですけど、実際はもっと多いんじゃないかなど。どのような判定されてるのか、聞きたいところでもあるんですけども、今年からでしたか去年、今年から家庭園芸作物の電気柵設置が始まりましたけれども、その辺の普及の状況とか、効果ということについての把握はされているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

家庭園芸作物への電気柵設置ということで、令和元年度から始まった制度であります。実績では、今年度は11月末現在で20件、20ヘクタールに対して約190万円の補助を行っているということでございます。昨年13件、13ヘクタールの120万円ということでありましたが、着実に伸びてきているという状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

大型野生獣の出没というのは、もう今どこに現れるか分からないというところもあるんですけども、命の危険につながることにあるわけです。

一方では、今年は猟期を延長して、個体数をもっと減らそうかと。その前にやはり個体数の、より正確な把握が必要ではないかなと。県内の自治体でもイノシシなどの大型野生獣のより正確な個体数の把握が必要だということで、ドローンを使って上空から調査していると。こういう取組があるというふうに聞いております。やはりまずは個体数の把握ということが、大事なんじゃないかなと思うわけでありましてけれども、これは単独の自治体ばかりじゃなくて近隣との連携も必要になるかもしれませんが、そういう取組の必要性については、どう考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

ドローンを使った生息数の調査等をやっておられる他の自治体等も承知をしておりますが、当市ではまだそのような取組については、取り組めていない状況であります。今後またどういった取組がいいかは、調査研究をさせていただきたいというふうに思っております。

ただ、いずれにしても当市だけでなく周辺市町村でもイノシシですとか猿の生息数が増加していることは間違いありませんので、全体的な計画の中で生息数・捕獲数の確保をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

次に、4番の（3）に入ります。

スキーシーズン、ヒューマニックという会社が行いましたコロナ禍におけるスキー場に関する意識調査があります。コロナ禍でもスキー場に行く、こう思ってる人は多いそうです。気になる場所としては、レストラン、レストハウス、ゴンドラ、それからトイレ、リフト、レンタル、それから

チケット売場、そのようにあるそうです。今冬以後のスキー場選びの大きな選定ポイントになっているということで、スキー場誘客には、いかにこれらの対策を行い、安全であることをアピールすることが重要であるというふうに言っています。

では、市内スキー場はどうなのでしょうということなんですが、シャルマン火打は、感染症対策をホームページで出しております。あまり大きなスペースじゃなかったんですけども、クリックすればきちんと書いてありましたが、私が見る限り、シーサイドは見受けないんですけども、その辺の取組というのは、どのように考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

索道事業者に係るコロナのガイドラインというのが示されておまして、そのスキー場の規模ですとか状況によって、できる対策は異なってまいります。シーサイドパレースキー場においても、できる範囲の中で適切に対策がされてるものと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

他のスキー場を出してあれなんですけれども、やはり野沢温泉なんかも、そこを出すとすぐに一番でかく出てますわね、感染症対策やっています。アピールが大事だと思います。よろしくお願いします。

ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

本日はこれにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦勞さまでした。

〈午後4時38分 延会〉